

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 7 月 3 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900150		
法人名	株式会社サンクリエイト		
事業所名	西町グループホーム		
所在地	広島県三原市西町一丁目10番8号 (電話) 0848-62-9531		
自己評価作成日	令和2年4月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900150-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年6月26日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

理念を活かし、ご利用者様お一人おひとり大切に见守り、声掛けを行い、自分らしく安心して笑顔の见られる生活が送れるよう、心に添ったケアを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「自分らしく、安心して生活を送れるよう」という理念の具体化を目指して、土いじりが得意な入居者にはプランターでキュウリやナスの栽培をし、花の好きな入居者の居室やリビングでの花の展示を増やしたり、かつての職場の同僚や後輩、技能職団体のお弟子さんの訪問を受けるなど、入所者の希望やこれまでの生活の継続性や個別性を大切にしたいケアを行っています。誕生会では好みの料理と一緒にバラ寿司や焼き肉などをしたり、月に2～3回おやつと一緒に作ったりしています。また、夕食後20時までトランプなどで職員と興じることもあります。 入居当初オムツを付けてこられた方は、排せつのパターンの記録や声掛けを通じて、座ることが出来る方は、ほぼオムツを外すことが出来ています。季節の行事の花見やさつき祭りを通じた外出の機会や地域との交流を創られています。

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し、実現に取り組んでいます。	理念は開設当初に職員が作り事務所のよく見えるところ二箇所に掲示してある。理念の中にある「自分らしく、安心して生活を送れるよう」のように優しく寄り添った介護が出来るような人材が揃っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所の行事等をお知らせし、ボランティアの慰問の願いを行い、交流を深めるよう努めています。	町内会に属しているため毎月1回の溝掃除にグループホームとして参加している。近隣は高齢化が進んでいるため付き合いは少なくなっているが、若い世代とは交流があるため災害があったときには協力関係が築けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会に入会している。災害時には、地域の方々の一時避難場所としての提供を町内会の方とも話し合いをしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、運営状況等を報告し、出席者との意見交換を行っています。	運営推進会議には家族代表、民生委員、市の職員、町内会の方がなるべく参加され、情報交換と行事関係を話し合い広報にもつなげている。そこでの意見の中には、水害に対する検討を行い、不安解消へ向けた話し合いを行った事例もある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、施設の状況を把握していただいています。	運営推進会議に来られている市の職員との関係が構築できている。介護保険関係はケアマネジャーが、市の窓口へ相談があるときにはその都度行っているため顔の見える良好な関係が築けている。	

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	声掛け見守りを十分に行っている。また研修会にも参加したり、施設内でも勉強会に取り組んでいます。	身体拘束をしないための勉強会を年2回実施し、身体拘束につながらないケアに努めている。また、万が一に備え転倒の危険性がある方には、ベッド下にマットを引くなどして怪我をしないような工夫をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設外の研修参加、施設内での勉強会により、職員間の理解を深めたり、意見交換を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている利用者がおられる為、スタッフには説明を行い、勉強会も行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の契約時に、締結、解約、改定等の説明を行い、不安や疑問を払拭するよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に、ご家族代表の方に参加していただき、意見交換の場を設けています。利用者様には日々の会話から要望されている事を聞き取るよう努めています。	日々の生活に寄り添う介護を行い利用者自身の要望に応えるようにしている。例えば、土いじりが好きな利用者にはプランターを用意し、一緒にお花を植え、育てた事例もある。	

自己 評価	外部 評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設け、個人面談を行い、運営に反映させています。	月に1度ミーティングがあり要望が聞き取れるようにしている。早出業務が忙しいとの意見があったときには、日勤業務を改善し分担することで、働きやすくした事例もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は管理者、スタッフ代表と会議を行い、スタッフの意見等を踏まえ、職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内、施設外の研修に参加出来るよう配慮しています。施設内では月1回勉強会をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域で開催される研修会に参加し、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方との意見交換や実践成功例を持ち帰りスタッフに伝達しています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の施設見学の際、管理者や職員が話を傾聴しながら、関係を築いています。安心していただけるよう、積極的に質問していただけるようにしています。		

自己 評価	外部 評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用前の見学とアセスメントを通して、家族の不安、要望の把握し信頼関係が保たれるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要とされる支援に対応するよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の体調を考慮し、家事や作品作りに協力していただき、入居者、職員とも良い関係が築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	消耗品、物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会にきていただき、外出・外泊の支援もさせていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、電話等の取り次ぎも行っています。	馴染みの関係性が途切れないように、昔の生活歴での知り合いの方と連絡調整を行い、いつでも来ていただけるような体制を整えている。	

自己 評価	外部 評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者一人ひとりの関係を把握し、無理なく関わりながら、生活が出来るよう支援に努めている。作品を作ったり、レクを行い、楽しい時間を過ごして頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了時に相談等対応出来る旨を伝えています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者本人の要望、意向を家族と共に定期的に話し、支援の方法等を引き出していく。それを基にケアプランの見直しも検討しています。	利用者ごとに担当を決めてしっかりと対応できるようにしているが、全職員が全利用者の意向が把握できるように取り組んでいる。また、意向の把握が困難な方がおられた場合には、筆談や表情を見ながら本人本位に繋がるケアを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴やなじみの暮らし方など、本人との会話などから聞き出し、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常の生活を過ごしていく中で、心身の状態や身体機能の現状を把握するよう努めている。本人様のペースに合わせた生活を送って頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ミーティングや関係者への相談、家族から聞き取りながら、ケアマネを中心に担当スタッフと一緒にケアプランの作成を行っています。	各担当者が情報収集をメインに行うが、ケアプラン作成時には全職員の意見を聞くことで計画作成担当者がケアプラン原案を作成している。そのため、その人その人に合った介護計画が立案できている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録内容を充実させたり、申し送りノートを活用し、スタッフ間での情報交換を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族の要望の変更や追加に対応して、希望に近づけるよう、支援やサービスに取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ボランティアの受け入れや、地域の方の見学などに対応しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医の往診を受け入れ、転院の際には、紹介状の依頼をしている。家族付き添いの受診時には、主治医宛に体調や状況を文章で伝え、適切な医療を受けられるよう配慮しています。	すべての利用者が協力医の医師のかかりつけとなっている。歯科医も協力医がほとんどだが、馴染みのかかりつけ歯科医が往診されている事例もある。専門医への受診があるときには、ご家族に協力を仰ぎながら受診を行うことで、適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状態観察を行って、気付いた事は報告する体制をとり、異変時は往診か受診の判断をお願いしています。また24時間体制で連絡がとれるよう、緊急時の対応をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員とソーシャルワーカーが連携をとりながら、介護サマリー、看護サマリーによる情報交換を行って、安全な生活が提供できるよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合の受け入れ施設の申込みをしていただき、当施設でも終末期に向け、ご家族等と話し合いを行い、十分に説明しながら、ケアが提供できるよう努めています。	入居時の段階から、終末期の説明を十分に行いしっかりとお話を行っているが、開設以来看取りを行った事例は無い。看護師がグループホームにいるため、何かあれば相談できることで、安心した医療体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AED研修や救急マニュアルを活用して、十分ではないが、実践力を身につけている。随時、施設内では勉強会の開催に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練の実施、火災・水害・地震の場合の避難場所を決めている。地震・津波・水害時の訓練の実施や避難経路マップを作成しています。	年に2回避難訓練を実施し、そのうち1回は夜間想定訓練を実施している。また、この地域は、水害が予想される場所にあるため、消防担当と話し合い地域住民と共に避難経路を作成し万が一に備えている。	

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、施設内・施設外の研修、勉強会などを受け、一人ひとり思いやりを持った声掛けを行っています。	排泄時の声かけには気を配り、その人に合った声かけやその人にしかないサインを見逃さない事でケアに繋がっている。入浴の際には、居室で一緒に衣類の準備を行い、意向に沿ったケアをしている。また、昔の仕事での呼び名を使い、人格を尊重した声かけも行っている事例もある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中から希望を聞き出したり、日常生活の中で、働きかけたり、雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ケアの状況によって、職員側の都合を優先する事もあるが、常に個人の想いを尊重し、無理のない生活を支援できるよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問理髪・美容を依頼しています。ご自分で洋服を選んでいただけるよう声掛けを行ったり、困難な人には、身だしなみが整えられるよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に1回は誕生日会やイベントを開き、昼食をお楽しみメニューに変更したりしています。おやつには、既製品だけでなく、手作りのおやつを作るよう配慮しています。	食事は3食とも基本的には配食での支援となっているが、ご飯とお汁はグループホームで作っている。月に1度は利用者の意見をもとにお好み焼き、ステーキ、お寿司等を手作りすることで楽しみのある食事になるよう工夫されている。また、月に2、3回はおやつ作りを一緒に行い、ゼリーやプリン、ホットケーキ等を作り喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。食事摂取が難しくなった方には、刻みやムース食へと随時変更し対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを見守り、声掛けを実施しています。必要に応じ、歯科医院より歯科衛生士の口腔ケアをお願いしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握するよう努め、トイレの誘導を心がけています。	各利用者ごとのファイルに排泄記録を記入することで、排尿間隔を把握し自立した排泄につなげている。オムツにて入居された利用者もしっかりとアセスメントすることで、トイレに行けるようにケアしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄状況の確認をし、便秘傾向の方には、薬剤と乳製品の摂取や看護師に相談しながら、便秘予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。週2～3回の入浴援助を行っています。入浴剤で温泉気分を楽しんでいただいています。	基本的には週に2回は入浴するようにしている。機嫌の悪い方がおられたら日にちを替え対応している。利用者によっては毎日入浴したいと希望される方がおり、できるだけ対応している。また、楽しい入浴に繋がる為に入浴剤を使用している。	

自己 評価	外部 評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日々の体調を把握しながら、一 人ひとりの状況に応じて、安心 して休息や臥床が出来るよう配 慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	一人ひとり処方される薬の説明 書は、ファイリングし、必要時 は確認している。個々にあった 服薬援助を行い、病状や副作用 の観察を行っています。薬剤師 の方と頻回に相談できる環境を 整えています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	張り合いや喜びを感じたり、気 分転換が図れるように、各個人 に合った役割を提供できるよう 支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	季節に合わせた行事を計画、実 施したり、家族の協力を得て、 ドライブに出掛けたり、状況 を見て戸外へ散歩できるよう 努めています。	気候が良く天気の良いときには 、全利用者が3人ずつ散歩に出 て日光浴をするようにしている。 また、季節毎に行事がありお花 見やお祭り等の外出支援も行 っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	入居者全員、預り金があり、事 務所で管理している。本人の申 し出があれば使用できます。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が希望されれば、その都度対応しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースは過ごしやすく、物の配置など工夫している。季節感や生活感などを取り入れる事で、居心地良く過ごせるようにしています。	廊下には塗り絵やお誕生日等の行事の写真が多数飾られており、楽しそうな雰囲気が溢れている。リビングからは外のプランターの手作り野菜やお花が見えるようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間は自由なスペースとして、利用者の思いのまま過ごしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、使い慣れた物を持って来られたり、家族写真を飾られたり、穏やかな気持ちになれるような空間になっています。	居室は照明などの基本的な設備以外は全て持ち込み対応となっている。そのため、居室の壁には習字や写真が多く飾られ、利用者の中には仏壇を持ち込むことで本人が居心地良く過ごせるように工夫がしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの配置や、一人ひとりの居室の環境の整備等にて、安全・自立に配慮しています。		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項 目（ 2F ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し、実践するよう心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会していますが、施設近隣の住民は高齢化し、空き家が多く点在し、交流が困難な状況です。今後は若い世代の方との交流機会を設ける必要がある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	災害時には、地域の方々の一時避難場所としての提供を考えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、運営状況等を報告し、出席者との意見交換を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	高齢者福祉課の職員に相談や疑問点が生じた際にはすぐ対応して頂き、お互い協力し合えるよう連携しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を実施する際は解除に向けた話し合いを持ち、定期的に勉強会を行い、研修会にも参加している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設外の研修や、施設内での勉強会を行い、職員が各自自覚を持ってケアを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている利用者がおられる為、研修会を行い、スタッフに周知を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の契約時に、締結・解約・改定等の十分な説明を行い、納得、理解していただくよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にご家族代表の方に参加していただき、意見交換の場を設けています。利用者様には、日々の会話から要望されている事を聞き取り、サービスに反映できるよう努めています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度フロアミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設け、業務連絡やサービスの統一を図っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	月に一度代表と管理者、リーダーで会議を行い、スタッフの意見等を踏まえ、職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内の研修・施設外の研修に積極的に参加できるよう配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の研修会に参加し、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方と意見交換する中で、サービスの質が向上するよう努めています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の施設見学の際、管理者とケアマネが家族様・本人様と面談を行い、話を傾聴しながら、関係作りに努めています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用時に、家族様・本人様の不安・要望等その都度確認し把握に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前本人様と面談を行い、必要とされる支援を含めたサービスプランになるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の方に出来る事や、可能な事などお願いし、職員が一緒に行い、良い関係が築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時に、近況報告や雑談などしながら家族様と良い関係が築けるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、楽しい時間を過ごして頂けるよう支援しています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様一人一人の関係を把握し、孤立を感じることがないよう生活ができるよう支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了時、家族様からの相談等があれば対応できる旨を伝えています。		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様それぞれに担当者を決め、本人様の希望・意向を把握し、支援の方法等を引き出し、ケアプランの見直しも検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴や普段の暮らし方など本人との会話などから聞き出し把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常の生活を過ごしていく中で、心身の状態や身体機能の現状を把握し、無理のないようなペースで施設の生活を送っていただくよう努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者様担当者が、月に1度のミーティングで意見交換し、ケアプランに反映させています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録内容を充実させたり、申し送りノートを活用しながらスタッフ間での情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族のニーズの変化に対応し、要望があれば変更や追加を希望に近づけるよう支援やサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域包括支援センターの協力を得ながら地域の資源を活用していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医院（内科、歯科）の往診、急変時には他病院への紹介の依頼をしている。適切な医療を受けられるよう配慮している。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状況観察を行い、24時間体制で連絡がとれるよう、緊急時の対応をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリー・看護サマリーで情報交換し、施設とソーシャルワーカーと連携をとるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合の受け入れ施設の申し込みをしていただき、当施設でも終末期に向け、事前確認を行い、家族と話し合い十分なケアが提供できるよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AEDや救急マニュアルを活用し、勉強会を実施し、実践力を身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練の実施、火災・水害・地震の場合の避難場所を決めている。避難経路マップを作成している。		

自己評価	外部評価	項 目（ 2F ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、施設内・施設外の研修、勉強会などを受け、一人ひとり思いやりを持ったケアを実践しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で思いや希望を聞き出し、働きかけたりして雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	状況によって職員側の都合を優先する事もあるが、個人の想いを尊重し、無理のない生活を支援できるよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問美容の方に来ていただいています。日常着はご自分で選んで頂くようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事食やおやつを作る時は、職員と一緒に作って楽しんで頂いています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアの声掛け、見守りを実施しています。必要に応じ歯科医師・歯科衛生士の歯科治療と口腔ケアをお願いしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を活用し、一人一人の排泄パターンを把握するよう努め、トイレの誘導、トイレでの排泄を心がけています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄状況の確認をし、便秘傾向の方には、薬剤と乳製品の摂取や主治医に相談しながら予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入居者からの要望や気分を尊重し、無理なく一人一人に応じた入浴の支援をしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	入居者様の無理のないよう、一人一人の状況に応じて、安心して休息や臥床ができるよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている。	協力薬局の薬剤師と薬の管理を行い、一人一人処方される薬の説明書はフアイリングし、分かりやすくしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 せるように、一人ひとりの生活歴 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている。	気分転換が図れるように、一人一人に合った役割を提供できるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	季節に合わせた行事を計画。天気の良い日は日光浴や状況をみて、散歩が出来るよう努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援し ている。	入居者様全員、預り金があり、事務所で管理している。本人の申し出があれば使用できる。		

自己評価	外部評価	項 目 (2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時はその都度対応しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースは過ごしやすいうに、物の配置などを工夫し、季節感を演出し居心地良く過ごせるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間は自由なスペースとして、入居者様の思いのまま過ごしていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には使い慣れた物を持ってこられたり、家族写真を飾られたり、穏やかな気持ちで過ごされています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内はバリアフリー、手すりの配置。一人一人の居室の環境の整備等にて、安全・自立に配慮している。		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 西町グループホーム

作成日 令和2年7月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	家族との関係作りに努める。	施設内での行事参加を呼び掛けたり、面会に来られた時には、利用者様の状況をしっかりと説明する。	各担当者が、家族との連絡をしっかりと行う。	3ヶ月以降より実施していく。
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。